

# 河内小だより

平成23年10月28日

10

## 6年生が親子で窓山に登りました！

10月25日(火)、6年のPTA行事として、河内小学校歌にも取り上げられている窓山(河内小学校区と安佐南区の境にある山 窓ヶ山, 窓ガ山 高さ約711メートル)に、6年生児童と保護者の皆さん、土佐岡校長、6年担任栗田教諭が登りました。

「河内農協」から「魚切」の停留所までは路線バスに乗りました。バスを降りると、民生委員児童委員会長の西本弘志さん、魚切地区にお住まいの日本治男さん、大田保徳さんが出迎えてくださいました。

いよいよ登山の開始です。日本さんが先導してくださり、大田さんが最後尾についていただきました。登山道は、丸太で階段が作られていたり、「あと1000m」といった看板があったりしてかなり整備されていました。しかし、全体的に傾斜が急で、道が深くえぐれていたり、岩場があったり、太い木が横たわっていたりして、山に登り慣れていない者にとってはかなり手ごわいものでした。休憩を何度もとって、登りに2時間から2時間半はかかったと思います。

西峰の頂上に着いたら、曇りがちな天気だったものの、河内小学校区をはじめ佐伯区の様子がよく見えて、まるで箱庭のようでした。瀬戸内海に浮かぶ江田島、能美島、宮島などの島々も見えて、すばらしい眺望が疲れをしばし忘れさせてくれました。

おいしい昼食と笑顔での語らい、余裕のある児童は頂上付近の「首なし地藏」「零戦練習機の事故現場」などを案内してもらった後、バスに遅れないように下山を急ぎました。1時間前後の下りだったと思います。

今回の窓山登山は、6年生児童にとっても、忘れられない思い出となったことでしょう。お世話になった日本さん、大田さんをはじめとする地域の皆様、6年学級世話係の皆様、ありがとうございました。参加された皆様お疲れでした。

## ボランティアグループと警察の皆さんによる防犯教室

10月26日(水)3・4校時に、避難訓練と防犯教室を行いました。避難訓練は、不審な人物が学校敷地内に侵入したのを職員が発見し、児童に危害が及ぶ恐れがあったため、児童を避難させるとともに、職員全員に不審者侵入を知らせ、組織的な対応をとるという訓練でした。防犯教室は、少年補導協助手でもある森田佐紀子さんが会長をされているボランティアグループ(八幡パイロット)の皆さんと、広島西警察署生活安全課の古曳衛子少年育成官、河内駐在所の保高正行さんが来てくださり、体育館で紙芝居や劇、クイズなどをおして、不審者から自分の身を守る心構えや方法について分かりやすく教えてくださいました。特に、「『いかのおすし』でおうちへかえろう!」というタイトルの大型紙芝居は、広島西警察署とその管内の少年補導協助手連絡協議会が作られたばかりの物で、本校が初演とのこと。児童も、その大画面に興味深く見入っていました。